ARTESIA-110GP

F3A Pattern Ship

Setup Guide(J)

WING SPAN:1755mm
LENGTH:1795mm
WING ARER:56.6dm2
EMPTY WEIGHT:3800g-4000g
ENGINE:4C/91-110
RC-SYSTEM:4ch-5ch(Aileron 2servo)
C.G:155mm-165mm

Sales Agency:***HOBBYNET***

http://www.hobbynet-jp.com

Copyright (C) 2010 HobbyNet-JP. All Rights Reserved.

注意事項

正しく安全にお使いいただくために、ご利用の前には必ずこの説明書をよくお読みください

■この製品は中・上級者向けのF3A機であり初心者単独での飛行は行ってはいけません。

■この製品は中・上級者向けのARF機です。完成までには多少の加工を必要とするために初心者単独での組み立ては行ってはいけません。

■この製品は細心の注意を払って作成されていますが念の為に各部を確認し、必要に応じて加工・補強を施してください。

■この製品により生じた一切の損害はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承の上、作成・飛行を行ってください。

※各部品は補修品としての単体販売は致しておりません。

作成時の注意事項

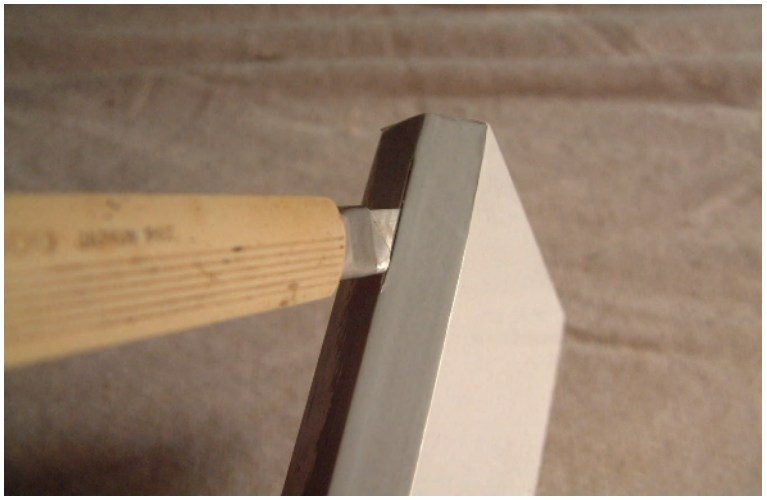
■フィルムを貼る時は、アイロンの温度は“低”で様子を見てから徐々に温度を上げるようにして下さい。
全ての組立工程が完了したら、ウレタンクリヤーをたっぷり薄めて機体全体に薄く塗りフィルムの剥がれ予防を実施しすると耐久性が上がります。

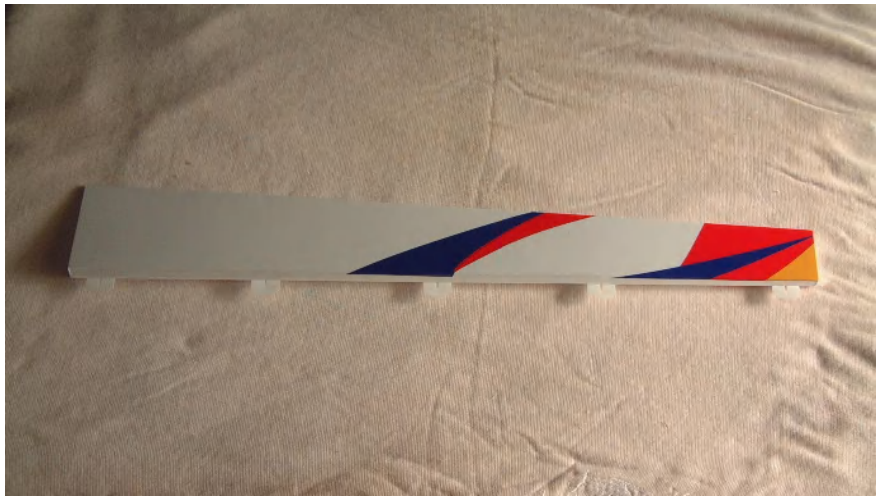
■各部の接着において使用する接着剤は基本的にエポキシ接着剤を使用して下さい。但し、軽量化目的等での瞬間接着剤、及びそれ以外の接着剤の使用は作成者の責任で判断し使用してください。

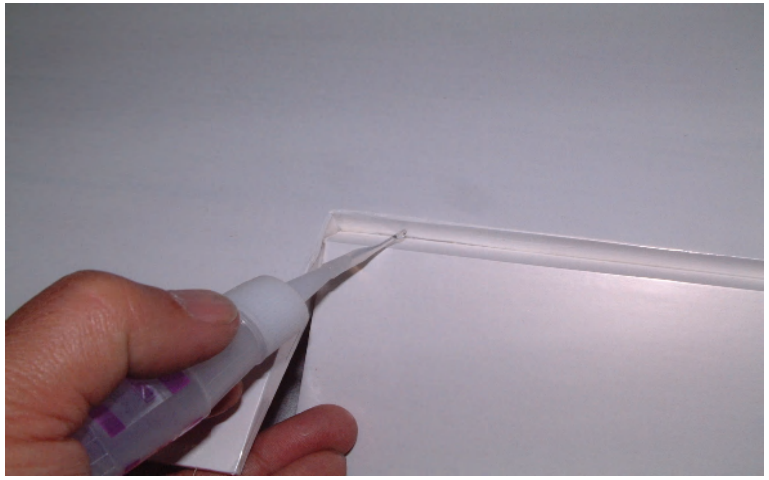
■組み立て完了後、実際の飛行に対して十分な強度を有しているかを必ず確認してください。誤った組み立て、接着不良・強度不足は飛行中、空中分解の危険性があります。

■この製品に搭載されるラジオ無線装置、エンジン、その他は各製品の取扱説明書を理解し正しい取り扱いをするようにして下さい。誤った取り扱いは思わぬ事故を招きます。

各ヒンジの取りつけ・エルロンのリンケージ







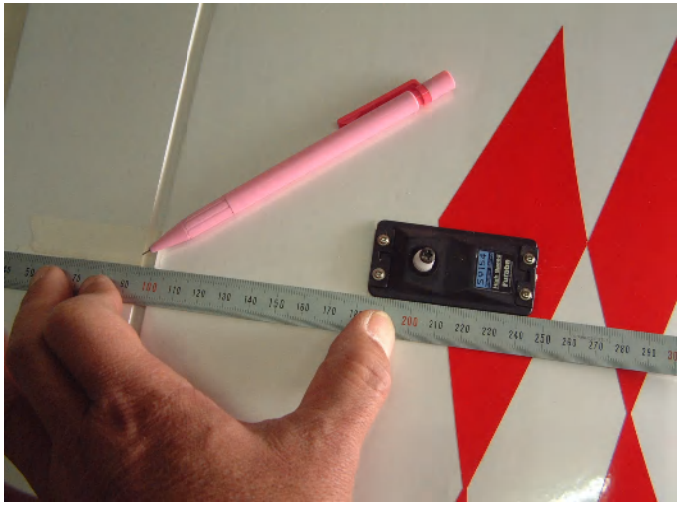
■ヒンジ溝は加工してないので、主翼側・エルロン側がセンターになる様に溝を付けて下さい

■各可動翼は樹脂ヒンジをまず、固定翼側にヒンジ半分を差した状態で低粘度瞬間接着剤で固定する

■他、エレベーター・ラダーも同様にヒンジ固定して下さい。

Copyright (C) 2010 HobbyNet-JP. All Rights Reserved.

各ヒンジの取りつけ・エルロンのリンケージ

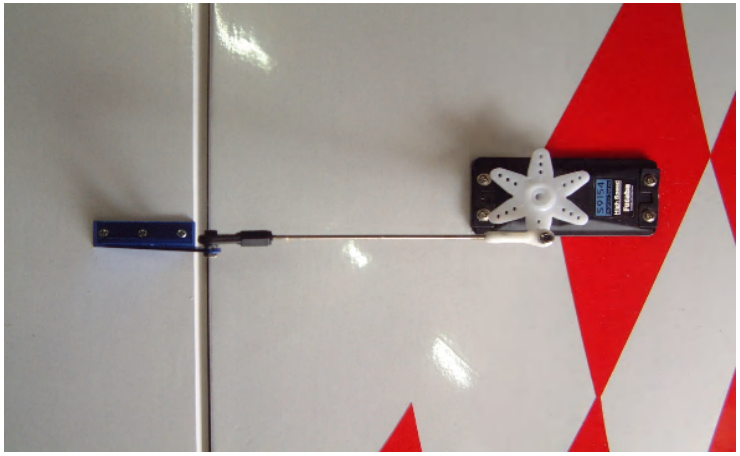


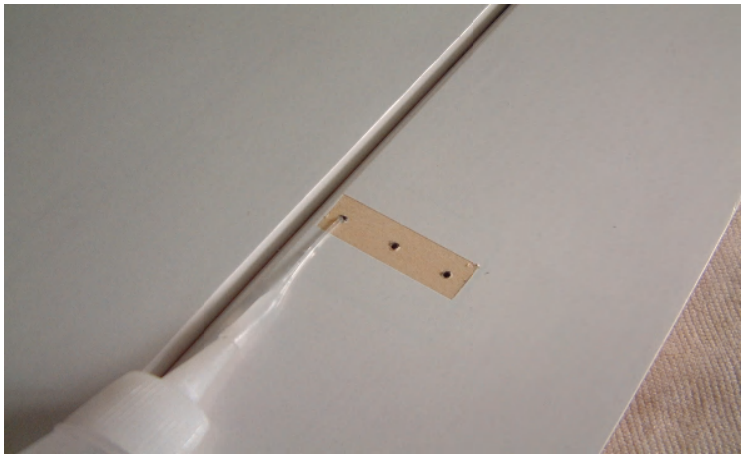
■主翼中央部分にサーボリード線が通る穴があります、フイルムをカットします。
■サーボリード線を通すガイドパイプが有ります。
■サーボは双葉S9150・S9154エルロン専用サーボに合わせて有りますが、標準サーボの取り付けは、自分で加工して下さい。

■エルロンホーンが付く所（ベニヤ部分）にマスキングテープなどを貼り、サーボ外側側面（写真サーボの時）から直線ラインをホーン取り付け位置に線を書きます。

Copyright (C) 2010 HobbyNet-JP. All Rights Reserved.

各ヒンジの取りつけ・エルロンのリンケージ





■仮付けして、各ホーンが直角になる様にして下さい。

■下穴を1.5mmのドリルで開け、付属のタッピングを一度付けて、タッピング山を作り低粘度瞬間でタッピング山を硬くして下さい。

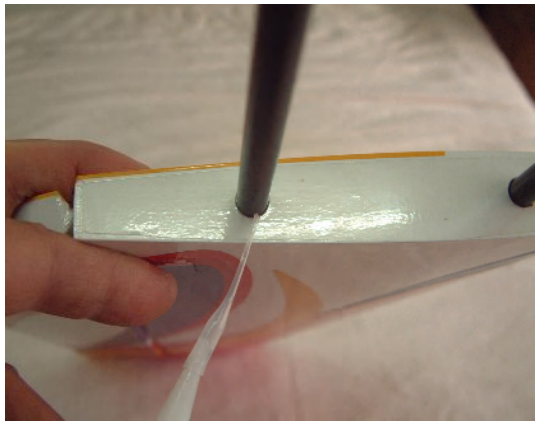
■位置が決まったら、余分なネジはカットして緩み止めして下さい、飛行中に緩むと墜落します。

Copyright (C) 2010 HobbyNet-JP. All Rights Reserved.

水平尾翼の組み立て･取り付け

■主翼と同様にヒンジ加工して下さい

■水平尾翼はパイプ固定の稼動式になってます。右側の水平尾翼にパイプを差込，低粘度瞬間接着剤で接着して下さい
■水平尾翼パイプは長いので仮組みして余分なパイプをカットして下さい（切りすぎると水平が固定できなくなります、注意して下さい）



Copyright (C) 2010 HobbyNet-JP. All Rights Reserved.

水平尾翼の組み立て･取り付け

■水平尾翼を仮付けして、1.5mmドリルで下穴を

開けます、2mmタップでネジ切りして付属2mmネジで固定して下さい。（下穴を開ける時、ドリルの刃にマスキングテープなどで印をして、注意してください。簡単に水平尾翼上面に貫通してしまいます

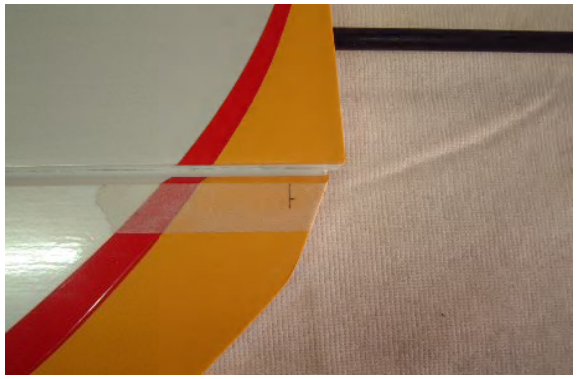
■水平尾翼･胴体の接触部分にスポンジなどを貼る人は、スポンジなどの加工後パイプの長さ･固定穴などの加工をして下さい。

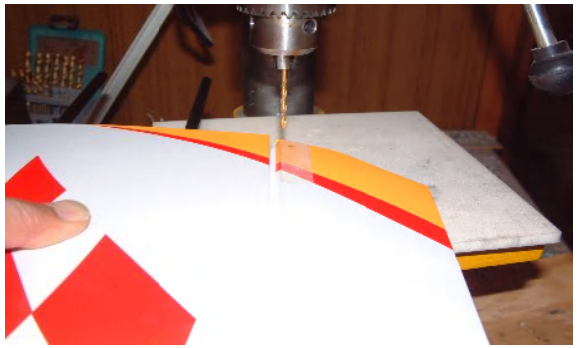
■アルテシア１１０は水平尾翼は可動式になってます、飛行調整まで、動かさないで下さい、メーカー製作作業で、０設定になってます、調整機構をむやみに動かすと、特殊器具での調整が必要になります。

＊調整例　　飛行調整でトリムがアップになった時は、調整ネジに3mmキャップボルト用ドライバー（２．５）を差込、反時計回りに回して下さい、ダウントリムは逆方向です、回す時は、１回半回して半回転戻すと、言った具合に調整して下さい。

Copyright (C) 2010 HobbyNet-JP. All Rights Reserved.

エレベーターホーン取り付け





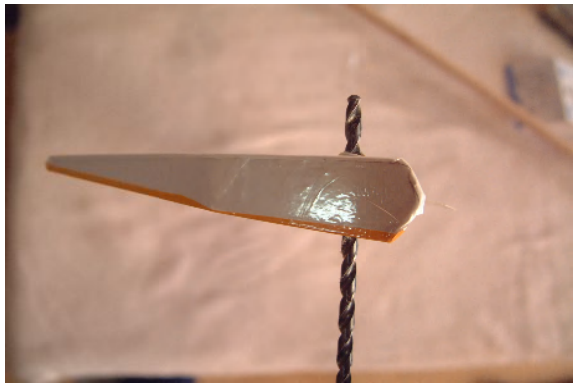
■エレベーター裏面中央（胴体側）から10mm，エレベーターVカット分から5mmのところに3mmドリルで穴を開けます。

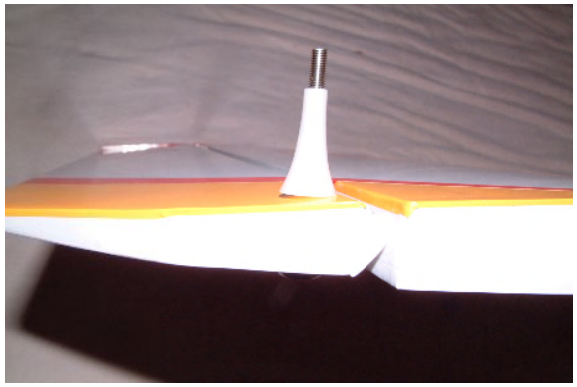
■エレベーター上面を水平にして，裏面からボール盤などで開けると良い角度で穴が開きます。

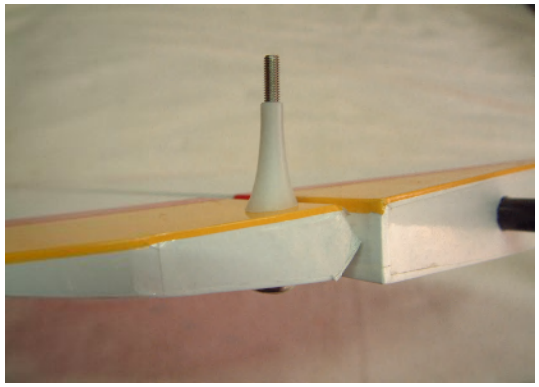
■ハンドドリルなどで作業をするときは，角度に注意してください。

■ホーンの台座をエレベーター面に合うように削り，ボルトをエポキシ接着剤などで，固定してください。

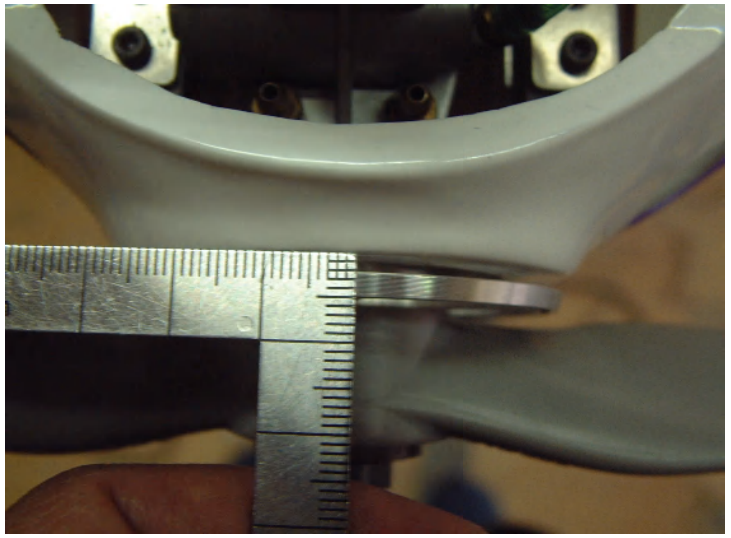
■穴開け加工・ホーンの台座加工ができない時は，社外品の挟むタイプのホーンを取付ることもできます。

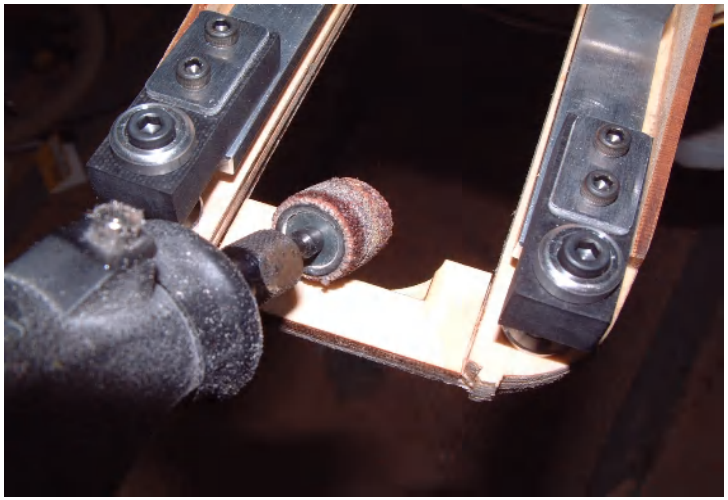






エンジンマウント・カウル周り



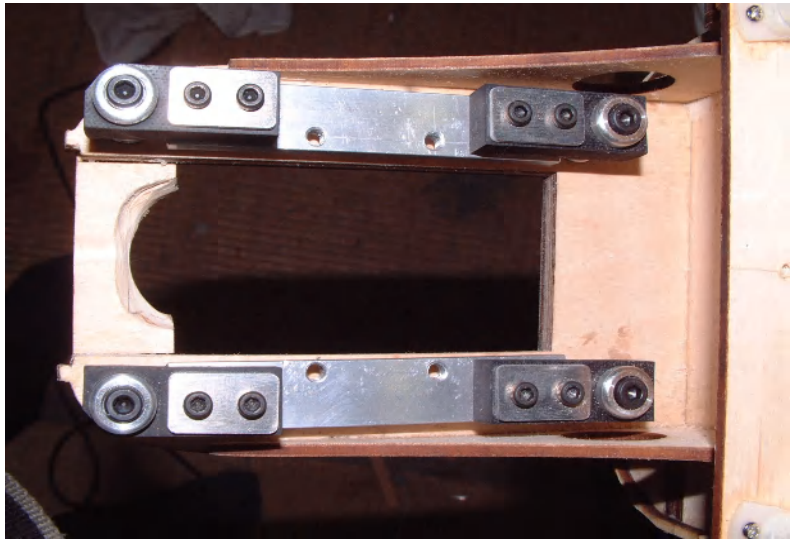


■フロントカウリングを仮にかぶせて、当たる部分を調整して下さい。
■エンジンマウントを付けてエンジン載せてカウリングとスピンナーの隙間を2～3㎜でエンジン位置を決めて下さい。

■レギュレターなどが当たる部分も削って下さい。

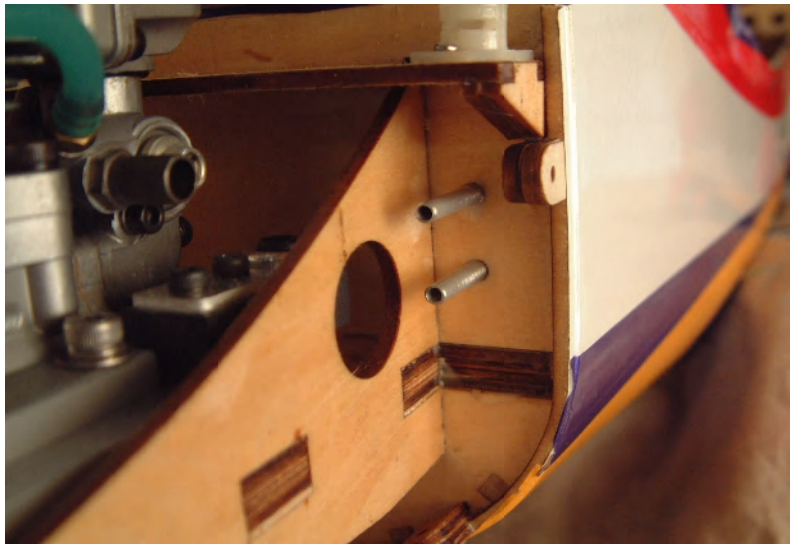
Copyright (C) 2010 HobbyNet-JP. All Rights Reserved.

エンジンマウント・カウル周り



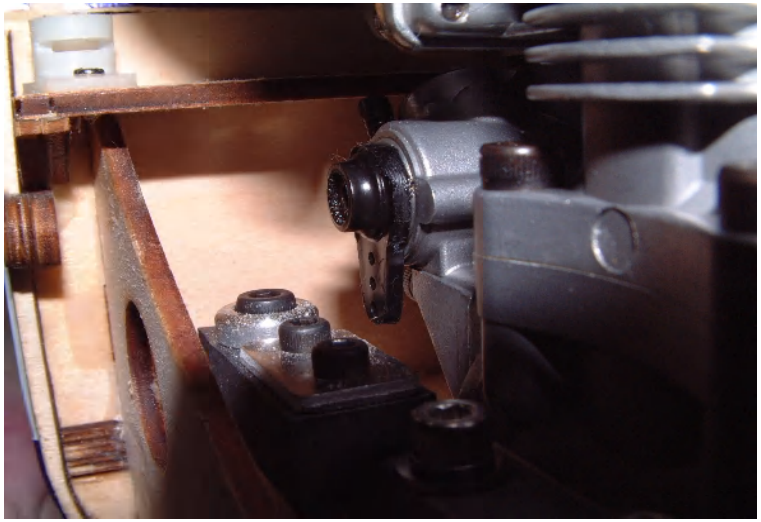
■各位置が決まったらマウントに4mmネジを立てて下さい。

■付属部品で燃料アルミチューブが付いてます、必要な長さに決めてカットしてエポキシなどで固定して下さい、アルミパイプのカット面は内面外面の面取りして下さい、燃料のパーコレション現象の対策です。



Copyright (C) 2010 HobbyNet-JP. All Rights Reserved.

エンジンマウント・カウル周り



■胴体内部もパイプの接着を忘れずに。

■エンジンコントロールホーンは写真のようにサーボホーンなどを裏返しに使うとマウントに当るのを避ける事が出来ます。

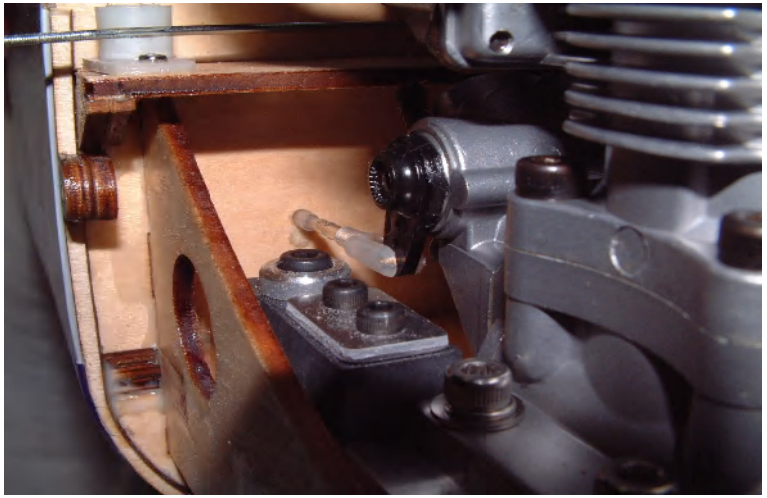
Copyright (C) 2010 HobbyNet-JP. All Rights Reserved.

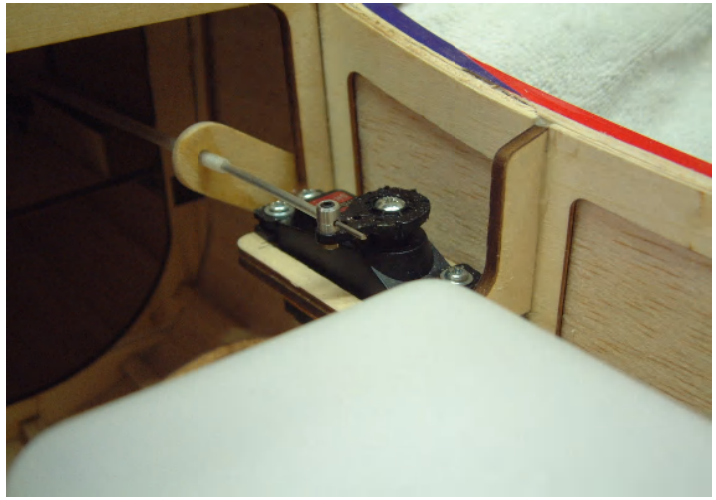
エンジンマウント・カウル周り

■一通りの加工が済んだらウレタンクリヤー・ポリ樹脂などを塗っておくと耐久性が上がります。

■エンジンコントロールサーボベットは小型サイズサーボ用が付いてます。標準型サーボ使用の方は、付いてるサーボベットを切り取り自分で付けて下さい。

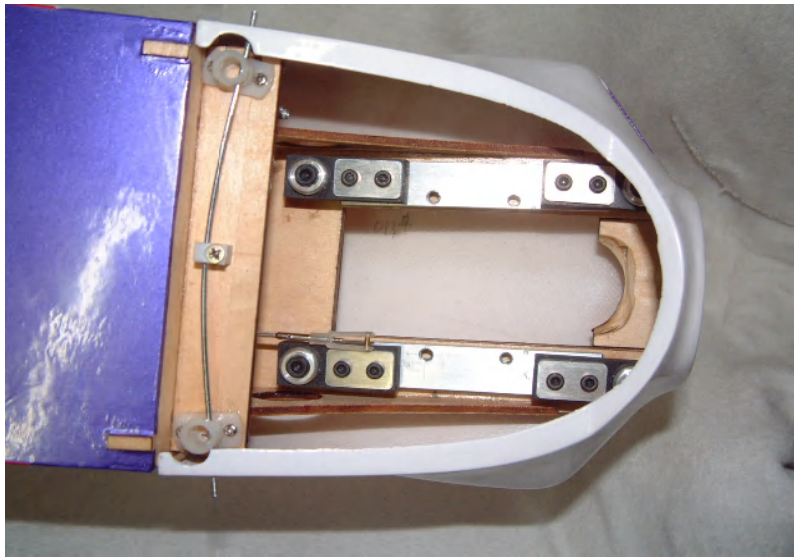
■エンコンロッド位置が決まったらサーボ側にスクラップベニヤなどで、ぶれ止を付けて下さい。付けないとスローが安定しません。





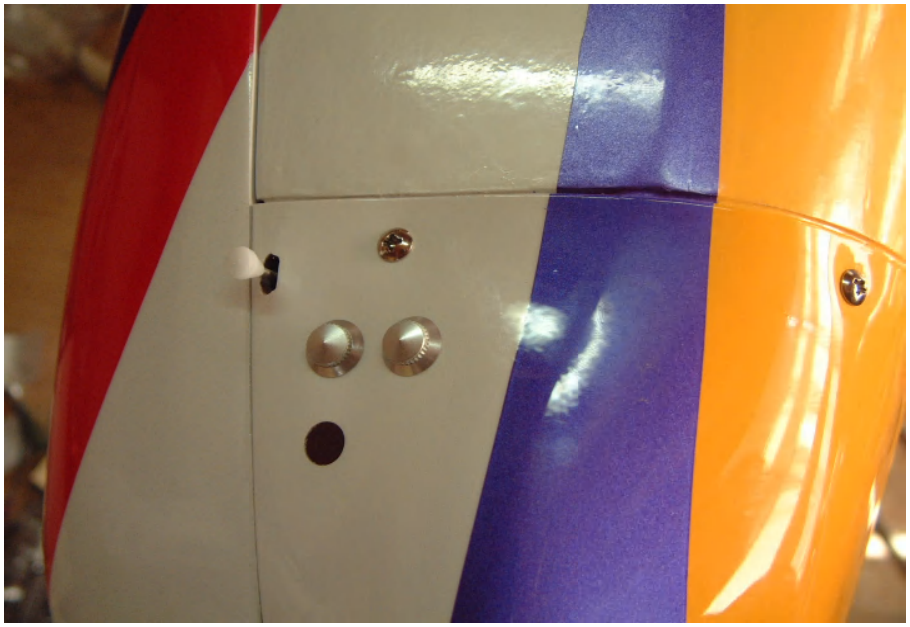
Copyright (C) 2010 HobbyNet-JP. All Rights Reserved.

エンジンマウント・カウル周り



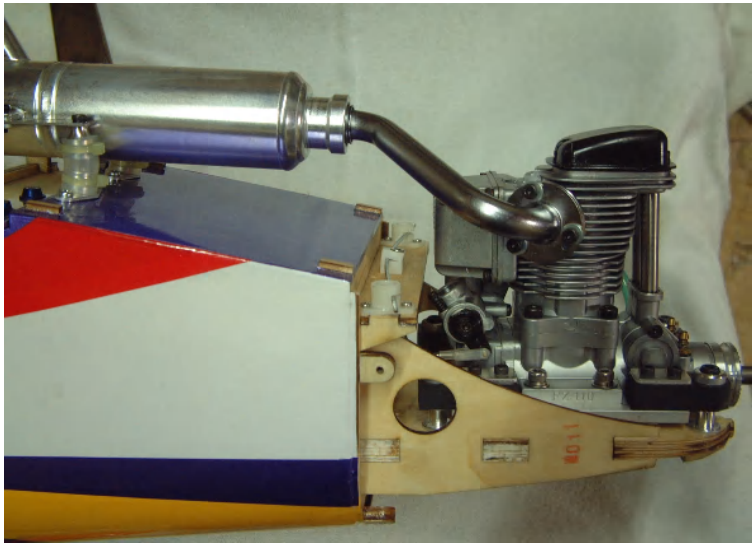
■カウリング本体は胴体側に固定する時、ビス止め、又は接着する事も出来ますが、接着すると、後での作業性が悪くなります。接着するかビス固定にするか、十分確認後自分で判断して下さい。

■胴体にカウリング固定用台座が付いてます、合わせてタッピング固定用にして下さい。



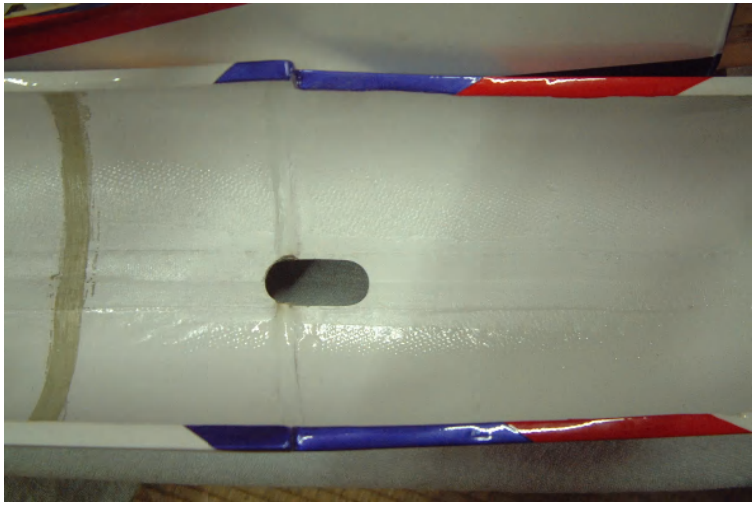
Copyright (C) 2010 HobbyNet-JP. All Rights Reserved.

ベリーパン周りの取りつけ



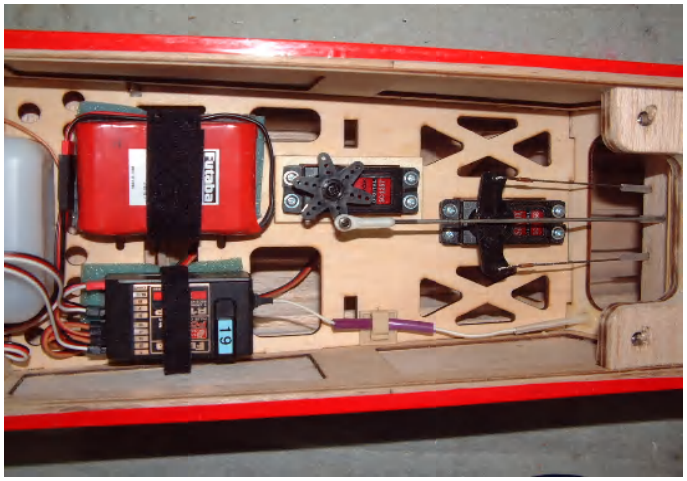
■ハットリショートサイレンサーセット例（別売り）、ヘッダーとサイレンサーの接続部分は直線になる様にして下さい、サイレンサー付属の固定パーツが使えます、他のパーツを使う時は、そのパーツの取り付け方法で行って下さい。

■ベリーパンにサイレンサー排気口・プラグヒート用の穴を開けて下さい、冷却用フロント通気口もエンジンに合わせ開けて下さい。



Copyright (C) 2010 HobbyNet-JP. All Rights Reserved.

メカ積み

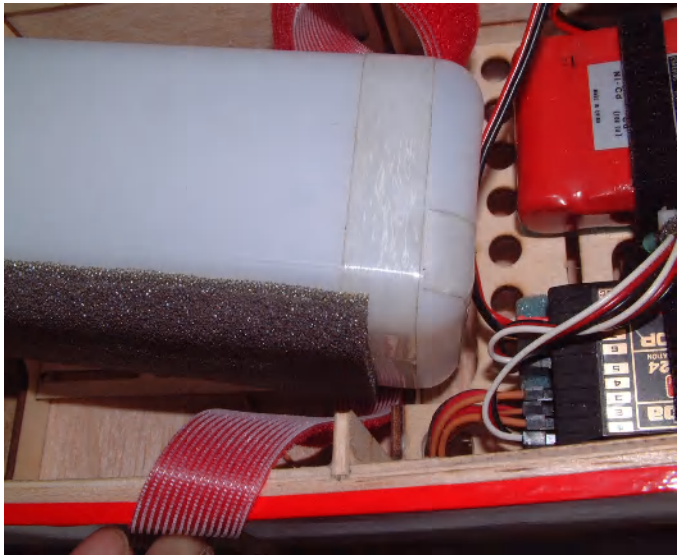


■左上写真はメカ済み完了ですが、重心合わせの為、燃料タンク前にRX電池用ベッドが付いてます、重心位置を確認しながら、搭載して下さい。
（次のページに写真有り）
■受信機・RX電池固定ベルト穴は開いてません、自分の搭載す受信機・電池に合わせて加工して、しっかり固定して下さい。

■エレベーターサーボからエレベーターホーンに合わせ直線ラインを引きます、エレベーターロッドに合わせ穴を開けてロッドを通して下さい。（次のページにエレベーターロッド製作例）

Copyright (C) 2010 HobbyNet-JP. All Rights Reserved.

メカ積み

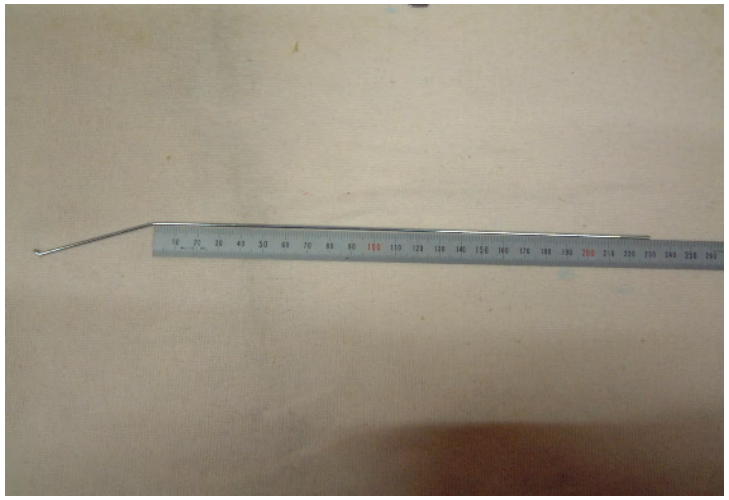


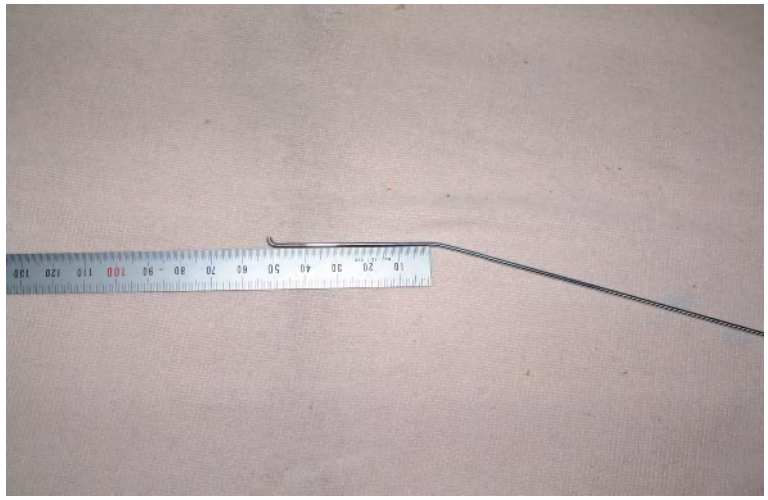
■重心を合わせるためRXバッテリー用台が在ります、バッテリー位置が決まってからスイッチ位置など決めると良いでしょう。

■タンクは、胴枠などとあたる部分にグラステープ、スポンジなどで補強して下さい、エンジン振動などで、タンクに穴が開く危険があります、その後、ベルトなどで固定して下さい。

Copyright (C) 2010 HobbyNet-JP. All Rights Reserved.

エレベーターロッド製作





■アジャスターロッドは合計280mmプラス、バルサロッド棒に差し込む分が必要です、バルサロッド棒50mmに2mmの穴を貫通させアジャスターが通る場所に溝を彫り、アジャスターロッドとバルサロッド棒を糸などで固定して接着固定して下さい。

Copyright (C) 2010 HobbyNet-JP. All Rights Reserved.

エレベーターロッド製作

■エレベーター側の製作が出来たら仮にロッドを胴体に通して、サーボニュートラル位置でバルサロッド棒に印を付けます、その位置に合わせサーボ側アジャスターロッドをバルサ棒と接着製作して下さい。

＊写真スールの長さは計る位置などで変わります、実際に機体に合わせ製作して下さい。

Copyright (C) 2010 HobbyNet-JP. All Rights Reserved.

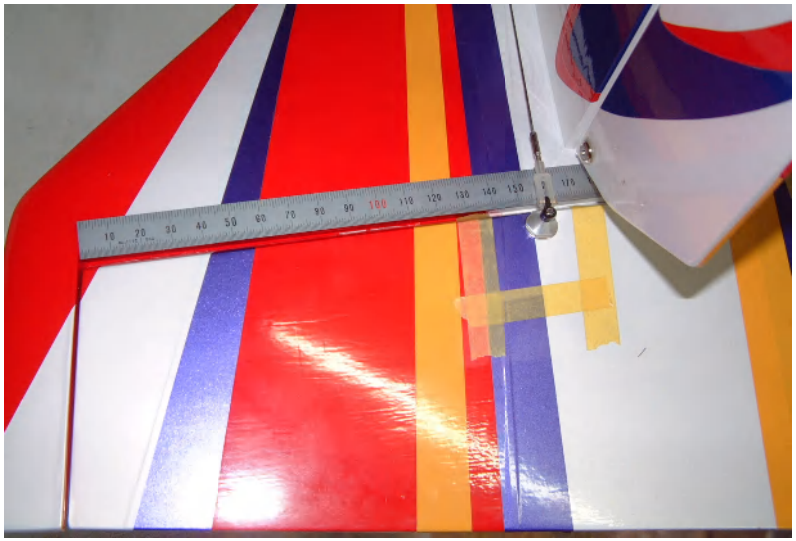
エレベーターロッド製作

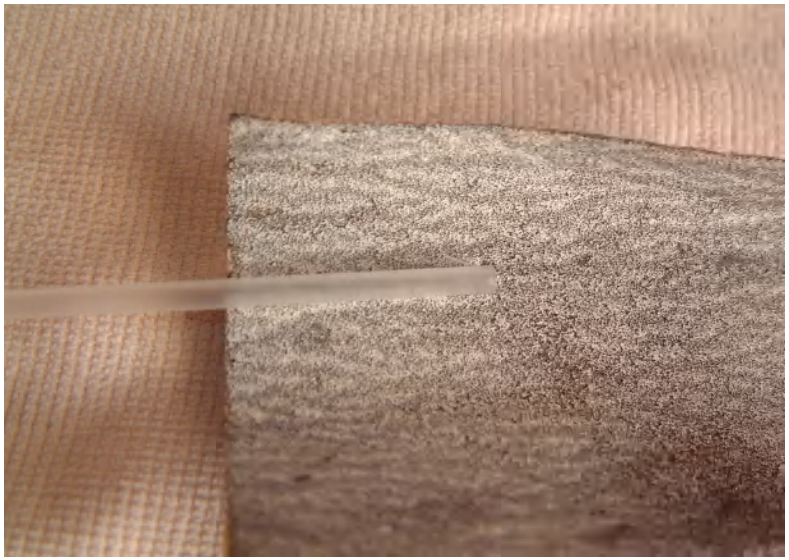
■ラダーワイヤーで使用したPPパイプで余分にカットしたパイプ50mm程度をエレベーターロッド出口にエポキシ又は瞬間接着剤で固定して下さい、外側のブレ止めになります。

＊接着前に抵抗なく動くようにして下さい

Copyright (C) 2010 HobbyNet-JP. All Rights Reserved.

ラダーリンケージ





■ラダー写真にマスキングテープを張ってる内側にベニヤ加工してあります。ラダー上側から150mmにラダーホーン位置を決めます。写真は155mmになってますが、これ以上下げるとエレベーターに干渉する可能性があります。エレベーター同様にラダーサーボホーン位置からラダーホーン位置に直線上に穴を開け、付属のPPパイプを入れて下さい。PPパイプは出口部分を80番～120番程度のペーパーで荒らすと低粘度瞬間で接着出来ます。

次のページにつづく

Copyright (C) 2010 HobbyNet-JP. All Rights Reserved.

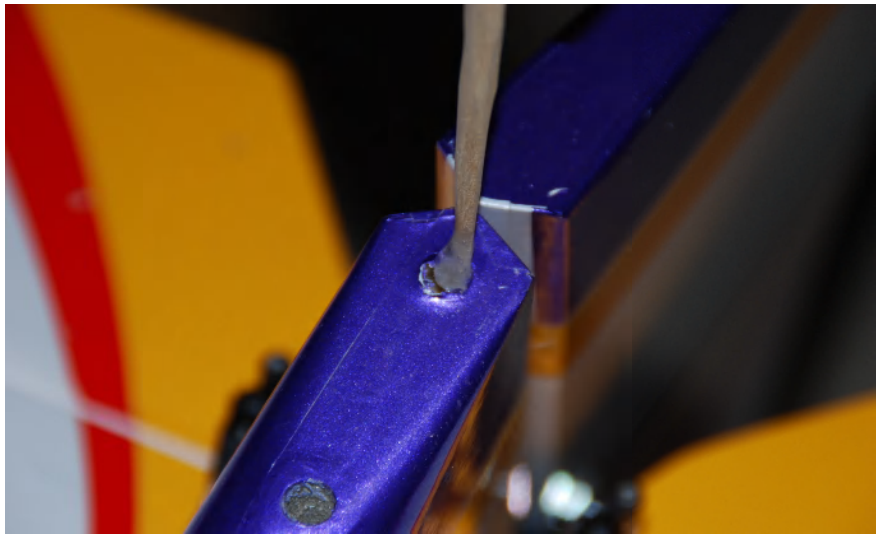
ラダーリンケージ

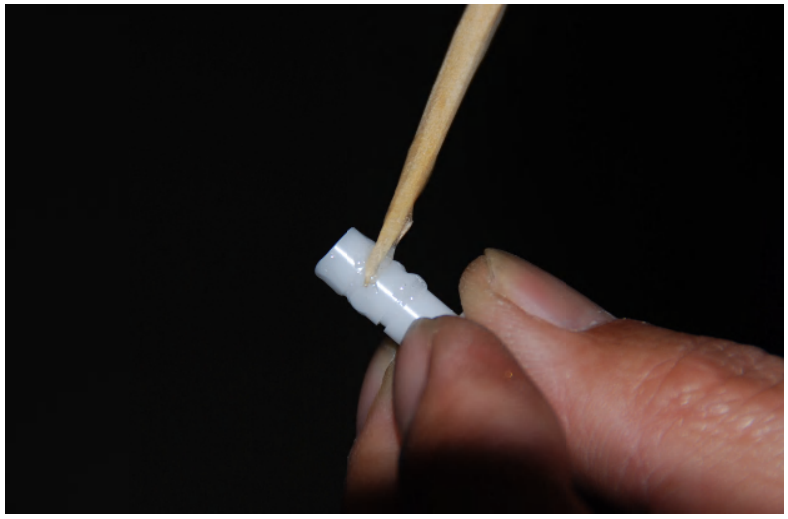
■ラダー側ホーン位置は写真位置で、サーボホーン側のワイヤー固定は3mmオフセットして下さい。オフセットしないと送り分のワイヤーがたるみ、ラダー切り替えしで反応が悪くなります。

■ラダーワイヤーを通す時、エレベーターロッド・ラダーワイヤーをバルサ・ベニヤなどでブレ止めを付けてください。ラダーワイヤーはぶれ止めが無くても良いですが、エレベーターは止めないとアップが効かなくなります。

Copyright (C) 2010 HobbyNet-JP. All Rights Reserved.

尾輪取り付け



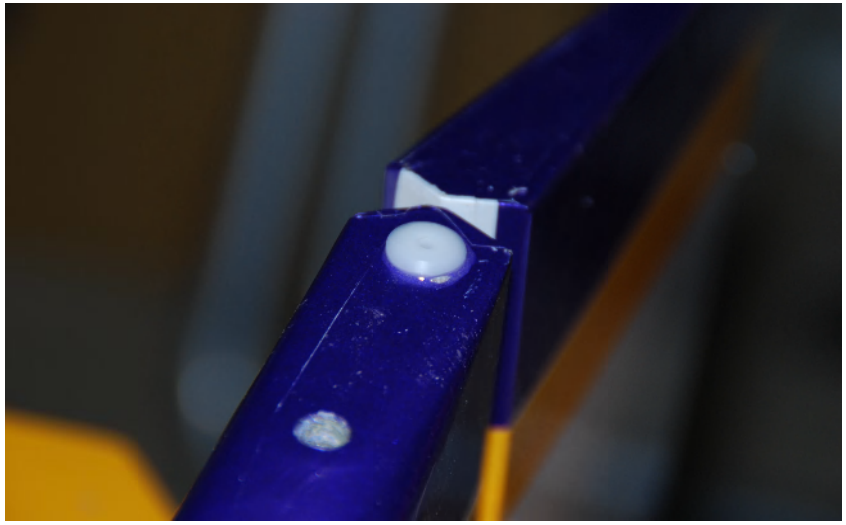


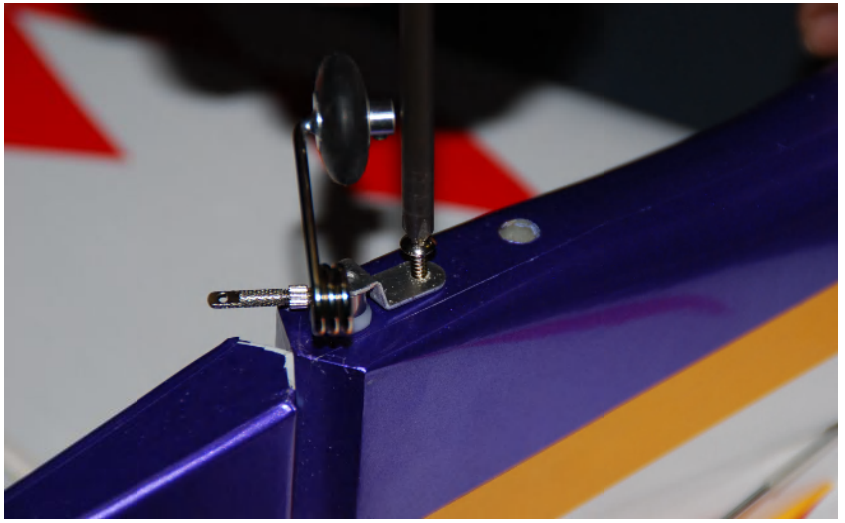
■機体側ラダーVカット位置から10mm位置・左右中央王に印を付け、小さなドリルから穴開けして下さい。尾輪台座が入る様に開けて下さい。

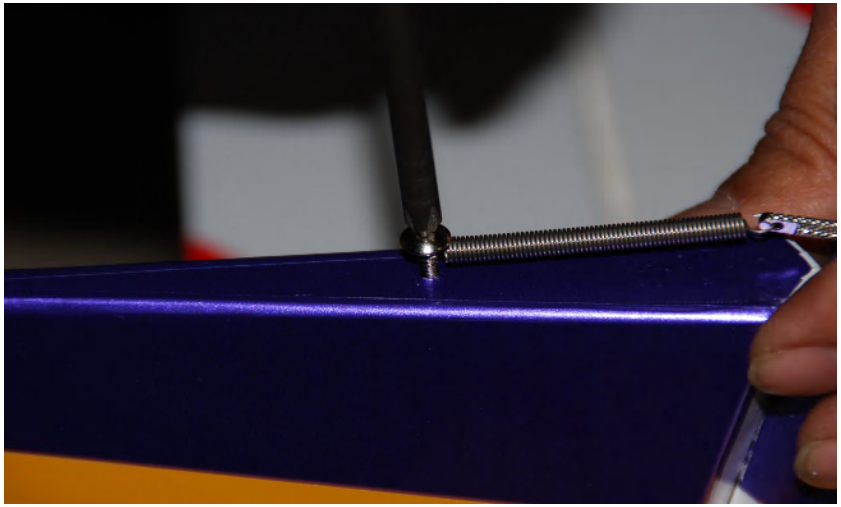
■台座用の穴にエポキシ接着剤を塗り、同時に尾輪台座の接着剤用レット（溝）にエポキシ接着剤を入れて台座を接着して下さい。

Copyright (C) 2010 HobbyNet-JP. All Rights Reserved.

尾輪取り付け







■尾輪本体を台座に取り付け、尾輪固定用金具を取り付けて下さい。＊金具取り付けタッピングビス下穴は、２mmで開けて、１度取り付け後外しタッピングねじ山に瞬間接着剤を塗るとねじがしっかり付きます。

■スプリング固定は、スプリングに少しテンションがかかる程度引きタッピングビスで固定して下さい。

＊スプリングのテンションが弱すぎるとラダーを切った時にスプリングがたるむ事が有るので、たるまない様にテンションをかけて下さい、スプリング固定用タッピングビスは入れすぎるとラダーにスプリングがあたり傷が付く事があります。

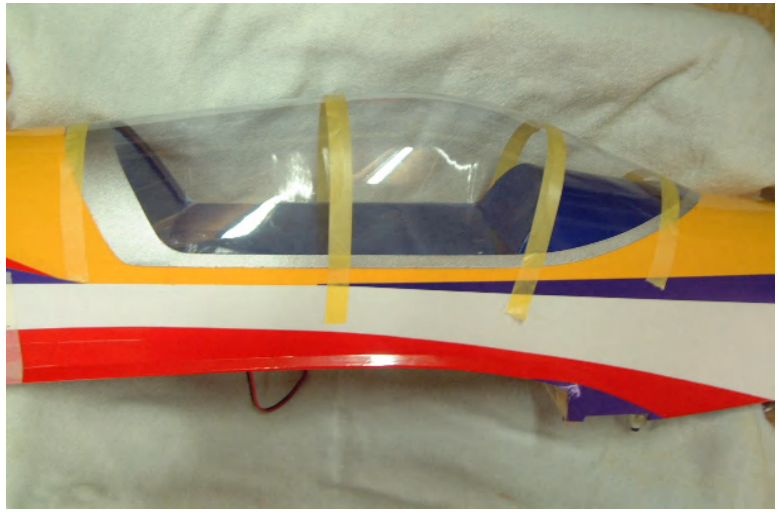
Copyright (C) 2010 HobbyNet-JP. All Rights Reserved.

キャノピーの取り付け

■接剤で固定する場合はキャノピー内にエアー抜きの穴を開けて下さい。熱などでキャノピーが変形します。穴を開けた所は裏側からスポンジなどを貼り、ごみなどの侵入防止して下さい、接着にはシリコン系の接着剤を使用します。例えば、シリコンシール材（バスコーク）

弾性エポキシ接着剤等が代表的な物です。またキャノピー専用の接着剤も市販されていますのでそれらを使用しますと綺麗に確実に固定できます。

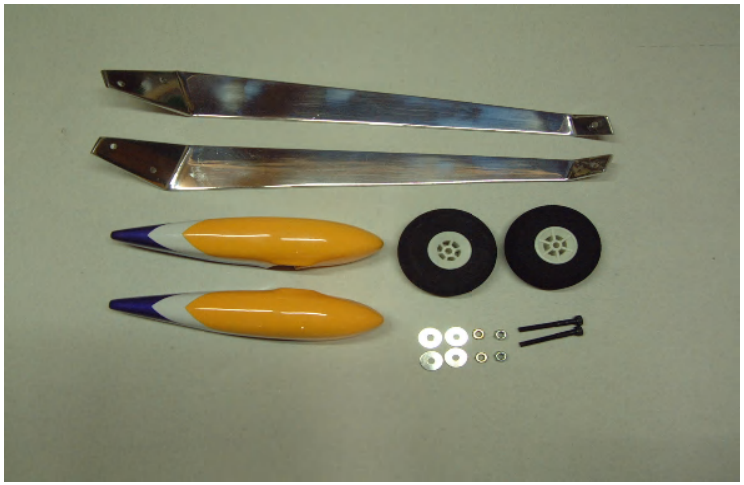
通常のエポキシ、瞬間接着剤ではちょっとしたショックで外れますので注意して下さい。

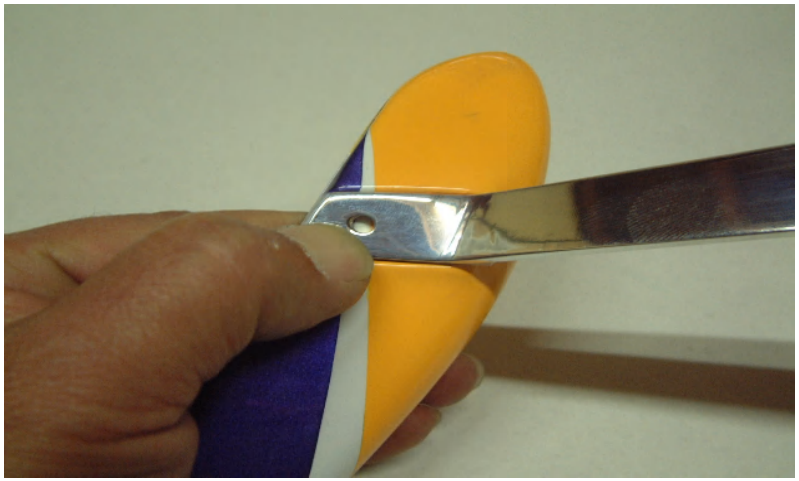


＊付属はしてませんが、タッピングで固定しても大丈夫です、胴体内に注意して加工固定して下さい。

Copyright (C) 2010 HobbyNet-JP. All Rights Reserved.

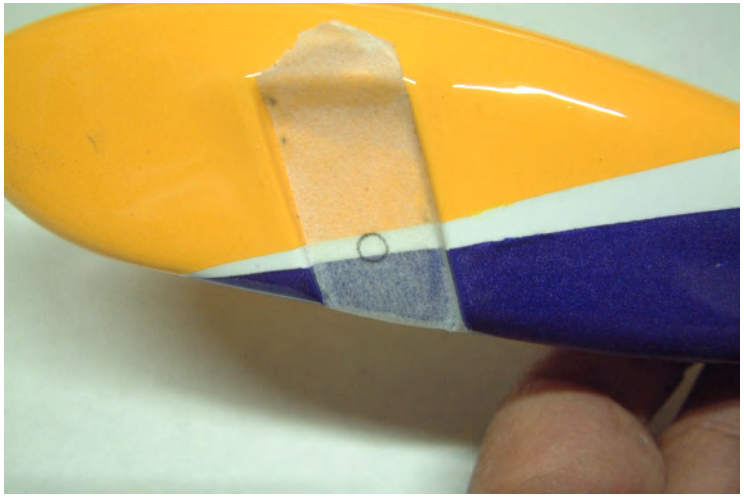
固定脚の組み立て

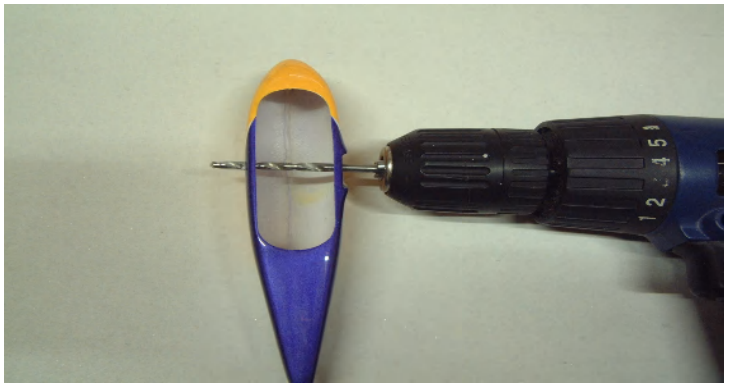




スパッツにマスキングを貼り、脚を押えて記しをつける。

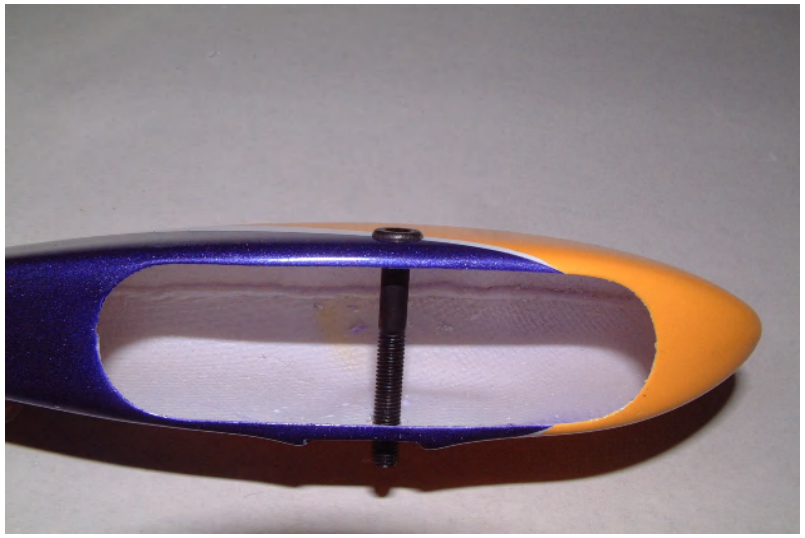
角度に注意してM4ドリルで穴を開ける。

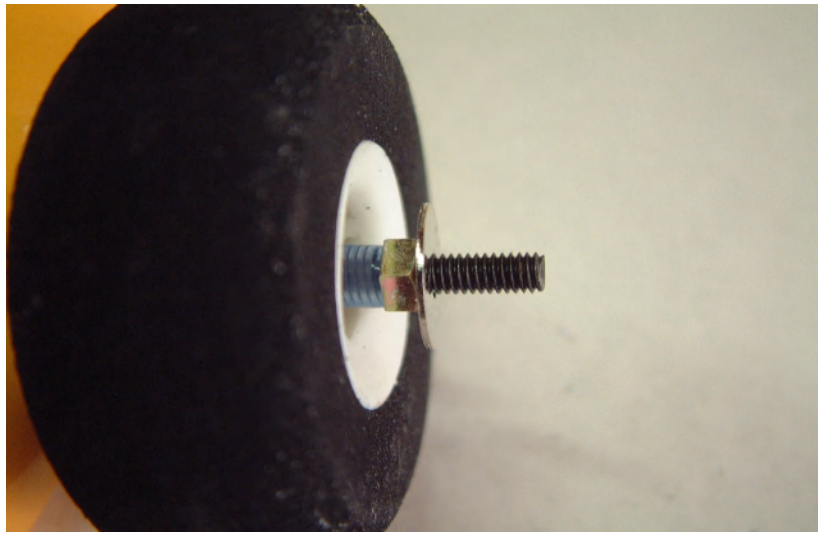


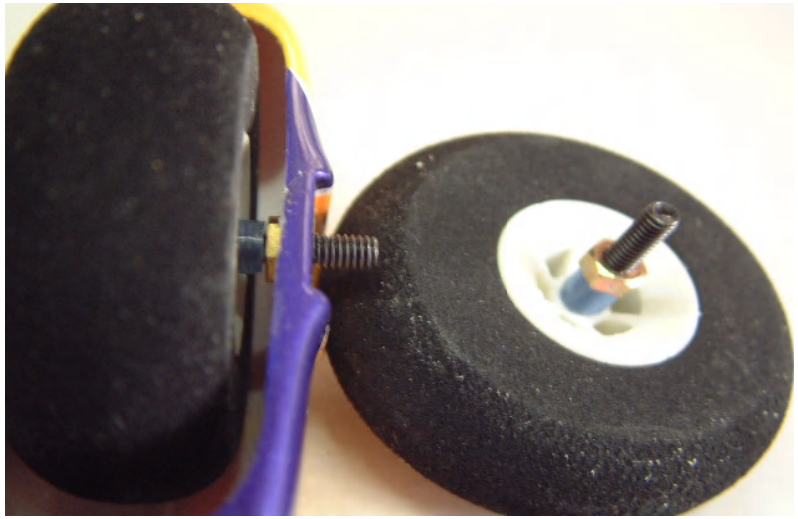


Copyright (C) 2010 HobbyNet-JP. All Rights Reserved.

固定脚の組み立て





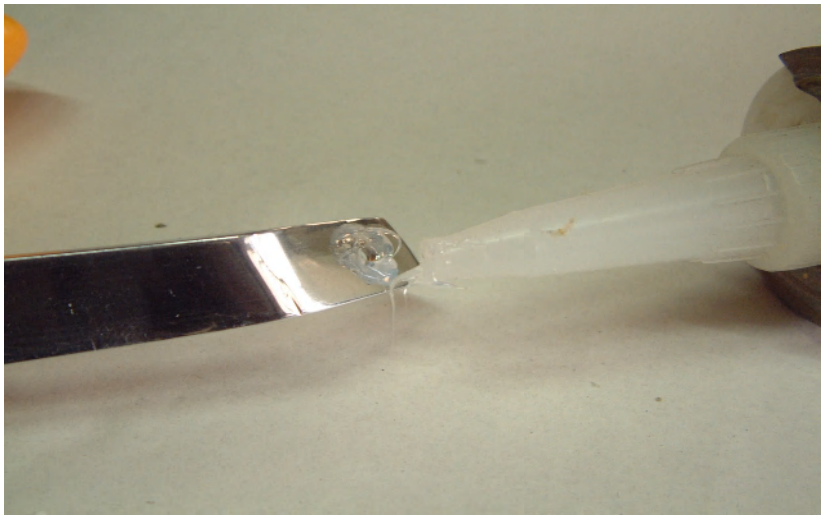


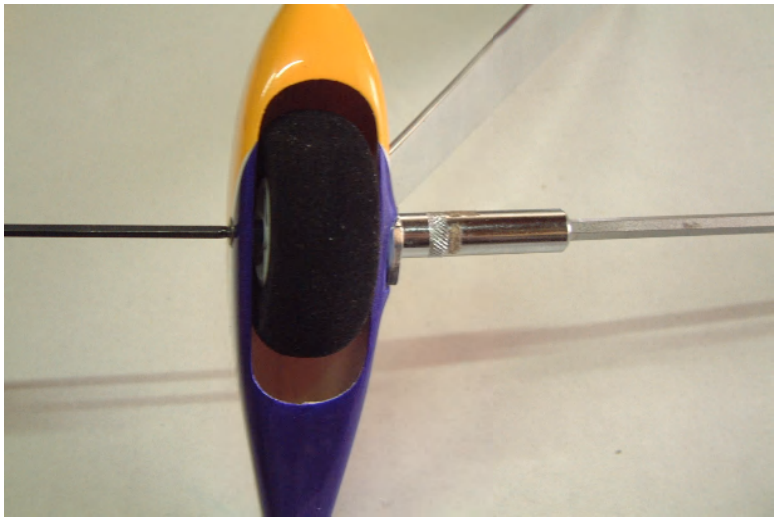
■M4キャップボルトに予め適当に短く切ったシリコンチューブを通しておく

■スパッツ外側からボルトを通し、ホイールを通し、続いてシリコンチューブ、M4ナット、ワッシャーを通しジュラ脚にM4ナイロンナットで仮止めする

Copyright (C) 2010 HobbyNet-JP. All Rights Reserved.

固定脚の組み立て





■一度機体に仮組して、スパッツと機体との角度を確認した後、シリコンシール材を塗ってしっかりと固定する。

■スパッツ外側に出ているM4キャップボルトの頭は弾性エポキシ接着剤及びシリコンシール材など塗っておく。

■ホール両側のシリコンチューブを調整してホイールセンター位置を決める。また、飛行中のホールの空転を防止しするために，ホイールの回転は，ある程度抵抗があったほうがよい。

■キャプボルトの頭とスパッツの当たる部分に弾性エポキシを塗るとガタが出ないので、お勧めします。

Copyright (C) 2010 HobbyNet-JP. All Rights Reserved.

スピンナー　補足

■付属スピンナーサイズは使用するプロペラに合わせて削り加工して下さい、プロペラとスピンナーが当ってると、スピンナーが破損し、重大な事故になる可能性が有ります。

Copyright (C) 2010 HobbyNet-JP. All Rights Reserved.

■備考

重心位置は主翼前縁から155mm～165mmになるように最終的にNi-Cdなどを移動させて合わせる。但し、実際に飛行させてみて総合的に判断して決定するのが望ましい。なお、以下の設定数値は初飛行時の参考データであり（この機体は非常に舵の効きに優れているので最初は少なめなに設定すること）スナップロールの等のレートは別途コンディションで作成すること。

フィルムを貼る時は、アイロンの温度は“低”で様子を見てから徐々に温度を上げるようにして下さい。
全ての組立工程が完了したら、ウレタンクリヤーをたっぷり薄めて機体全体に薄く塗りフィルムの剥がれ予防を実施して下さい。

重心：155mm－165mm
エルロン：±10ー12mm
エレベーター：　±10～12mm　キックアップ　14mm
ラダー：　上側測定　片側55mm
全備重量 3800～3900g
搭載エンジン・メカなどで重量は変わります。

予告なくこのマニュアルの追加情報（補足説明）をWebで公開する場合がありますので、次のURLにアクセスの上ご確認下さい。
http://www.hobbynet-jp.com/

Copyright (C) 2010 HobbyNet-JP. All Rights Reserved.